

日商簿記 1 級 2027年度からの出題区分の変更点と、変更に伴う弊社書籍の改訂予定

2026年 9 月10日
ネットスクール株式会社

1. 2027年度からの出題区分の変更点

日本商工会議所より、2027年度から（第176回以降の本試験）の日商簿記 1 級の出題区分表が2026年 7 月31日に公表されました。1 級に直接影響する変更点は次のとおりです。

なお、2026年11月に実施される日商簿記検定試験は、変更前の出題区分が適用されることにご注意ください。

(1) 商業簿記・会計学

変 更 点	説 明
小切手と手形について 出題区分表から削除	紙の小切手と手形が2027年 3 月末日をもって廃止されることから、簿記検定試験の出題区分表から削除されます。
新リース会計基準の適用 ⁰¹⁾	新しい「リースに関する会計基準」が2027年 4 月 1 日以降開始する事業年度から適用されるのにあわせて、簿記検定試験の出題区分が変更されます。

01) これまで計上していたリース資産、リース債務から使用権資産、リース負債に変更になるとともに、借手はファイナンス・リース、オペレーティング・リースの区別がなくなり、リースの対象が不動産まで広がります。

(2) 工業簿記・原価計算

工業簿記・原価計算の出題区分の変更はありません。

2. 弊社書籍の改訂予定

新しい「リースに関する会計基準」は古い「リース取引に関する会計基準」と比較すると大幅な改正であり、改正前の書籍では本試験に対応することができません。そのため、古い教材をお持ちの場合、2027年度の試験を受験されるにあたっては、下記の表に記載の書籍に買い換えることをおすすめします。

一方、小切手と手形の廃止については小切手と手形の論点が出題されないだけであるため、1 級の学習において大きな影響はないと考えています。

書 籍 名	説 明
「日商簿記 1 級とおるテキスト」第 2 版 基礎編・応用編 「日商簿記 1 級とおるトレーニング」第 2 版 基礎編・応用編	第 2 版で新リース会計基準、小切手・手形の廃止をすでに反映済みであり、書店、ネットショップで販売中です。 新「リースに関する会計基準」は、基礎編と応用編の両方に記載されています。
「だれでも解ける過去問題集」第 4 版	第 4 版で新リース会計基準、小切手・手形の廃止をすでに反映済みであり、書店、ネットショップで販売中です。
「脳科学×仕訳集日商簿記 1 級」第 4 版	2027年 1 月に刊行予定です。
「講師が選んだ過去問題集」2027年度対策	2027年 1 月に刊行予定です。 ⁰²⁾
「第176回 ズバリ！ 1 級的中 完全予想模試」 ⁰³⁾	2027年 3 月に刊行予定です。 ⁰⁴⁾

02) 「リースに関する会計基準」の改正を見越し最近の本試験では、リース会計の出題はありません。

そのため、新リース会計基準の問題の記載はない予定です。

03) 2026年11月本試験対策用の「第174回 ズバリ！ 1 級的中 完全予想模試」は、現在販売中です。

04) 第176回本試験の対策として新しい「リースに関する会計基準」の予想問題を入れる予定です。